

- 問1 南アフリカ共和国では、かつてスポーツ観戦の客席が人種によって分断されているような状況がありました。この人種隔離政策の撤廃を目指して活動し、長期間の投獄を経て1994年に同国初の黒人大統領となった人物は誰ですか。 (2019年 島根公立入試 類似)
1. ネルソン・マンデラ                      2. マハトマ・ガンディー                      3. キング牧師                      4. バラク・オバマ
- 
- 問2 1989年に起きた「ベルリンの壁の崩壊」から、1991年の「ソ連（ソビエト社会主義共和国連邦）の解体」に至るまでの国際情勢の推移について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 壁の崩壊によって東西対立が緩和し、マルタ会談での冷戦終結宣言を経て、翌1990年にドイツが統一された
2. 壁が崩壊した直後のマルタ会談でソ連の解体が決まり、その影響でドイツの南北統一が実現した
3. 壁の崩壊を受けてマルタ会談が開かれたが、冷戦の終結はソ連が解体される1991年まで持ち越された
4. 壁の崩壊に先立ってマルタ会談が行われており、その合意に基づいてベルリンの壁が撤去された
- 
- 問3 湾岸戦争において日本が行った貢献と、その後の日本の国際貢献のあり方に与えた影響について述べた文として適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 巨額の資金援助を行ったが、人的貢献がなかったことで批判を受け、後のPKO協法力制定の契機となった。
2. 自衛隊の精鋭部隊を多国籍軍の主力として派遣し、戦闘地域での武装解除を主導した。
3. 日本は一貫して中立の立場を貫き、多国籍軍への支援も経済制裁への参加も一切拒否した。
4. アメリカとの安全保障条約に基づき、日本国内の基地から日本の航空自衛隊が直接爆撃に参加した。
- 
- 問4 1989年にアメリカとソ連の首脳が「冷戦の終結」を宣言するに至った、当時の国際情勢の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 埼玉公立入試 類似)
1. 東ヨーロッパ諸国において、一党独裁体制を打倒しようとする民主化運動が急速に広がった。
2. ソ連がアフガニスタンへの軍事侵攻を開始し、西側諸国との緊張が最大に達した。
3. アメリカを中心とする北大西洋条約機構（NATO）が結成され、軍事的な優位が確定した。
4. キューバ危機が発生し、核戦争の回避を目的とした核兵器制限交渉が始まった。
- 
- 問5 アメリカ大統領とソ連書記長が会談し、長年の冷戦の終結を宣言するに至った歴史的背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 宮崎公立入試 類似)
1. ソ連において、国内の立て直しを図るための改革（ペレストロイカ）が進められ、西側諸国との協調路線に転換したこと。
2. ソ連がキューバに核ミサイル基地を建設したことで、アメリカとの間に核戦争の危機が高まり、軍縮の必要性が生じたこと。
3. 核兵器の開発競争においてソ連がアメリカを圧倒し、軍事的な優位性を確立したことで対立を続ける必要がなくなったこと。
4. 第二次世界大戦直後に東西ドイツの分断を決定した会談に基づき、両国の経済協力が順調に進んだこと。
- 
- 問6 大正時代から現代までの日本の教育に関する統計において、戦後の教育改革や社会の高度化、高学歴化を背景に、1920年から2020年まで一貫して増加傾向を示している項目はどれか。 (2024年 宮崎公立入試 類似)
1. 大学数                      2. 小学校の児童数                      3. 海外留学を希望する学生数                      4. 義務教育の就学率
- 
- 問7 広島県に位置する史跡で、かつては「広島県物産陳列館」として利用されていましたが、現在はドーム状の鉄骨が露出した姿で保存され、1996年にユネスコの世界遺産に登録された建物の名称を答えなさい。 (2017年 沖縄公立入試 類似)
1. 原爆ドーム                      2. 平和祈念資料館                      3. 平和の礎                      4. 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
- 
- 問8 1990年代初頭に起こった湾岸戦争では、日本は多額の資金援助を行いました。国際社会からは人的な貢献が不十分であるとの批判を受けました。これを背景に、国際平和のための協力体制を整え、自衛隊などが国連の活動に参加できるようにすることを目指して1992年に成立した法律を何といいますか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 国際平和協法力（PKO協法力）                      2. 日米安全保障条約                      3. 非常事態宣言法                      4. 破壊活動防止法
- 
- 問9 1991年に発生し、第二次世界大戦後から続いてきたアメリカ合衆国を中心とする資本主義陣営と、ソビエト連邦を中心とする社会主義陣営の対立（冷戦）を完全に終わらせることになった出来事を選びなさい。 (2016年 大阪公立入試 類似)
1. ソビエト連邦の解体                      2. 国際連合の創設                      3. 北大西洋条約機構（NATO）の解散                      4. ロシア帝国の崩壊
- 
- 問10 第一次世界大戦後の1920年に設立された「国際連盟」が抱えていた、平和維持組織としての課題について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 提唱国であるアメリカが不参加であり、意思決定に全会一致を必要としたため、迅速な対応が難しかった。
2. 常任理事国に強力な拒否権が与えられていたため、大国の利害対立によって組織が機能不全に陥った。
3. 加盟国すべてに軍隊の供出が義務付けられていたため、かえって各地で武力衝突が拡大した。
4. 19世紀以来の国際極年の活動を引き継いだ科学組織であったため、政治的な紛争解決能力が欠けていた。
- 
- 問11 1990年代初頭に日本が国際平和協法力（PKO協法力）を制定し、自衛隊をカンボジアへ派遣するに至った歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 和歌山公立入試 類似)
1. 湾岸戦争での多額の資金援助が国際的に評価されず、人的貢献が求められるようになったため。
2. 冷戦の影響でベトナム戦争が激化し、東南アジアの安全保障を強化する必要があったため。
3. 日米安全保障条約の改定により、自衛隊がアメリカ軍を直接支援する義務が生じたため。
4. 国連からの要請ではなく、日本独自の平和維持活動をアジア全域で展開するため。
- 
- 問12 1960年代から2000年ごろまでの日本および世界の出来事について、古いものから新しいものへ時系列順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 東海道新幹線の開業 → 石油危機（オイル・ショック） → 東西ドイツの統一 → 京都議定書の採択
2. 石油危機（オイル・ショック） → 東海道新幹線の開業 → 京都議定書の採択 → 東西ドイツの統一
3. 東海道新幹線の開業 → 京都議定書の採択 → 石油危機（オイル・ショック） → 東西ドイツの統一
4. 東西ドイツの統一 → 石油危機（オイル・ショック） → 東海道新幹線の開業 → 京都議定書の採択

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 ネルソン・マンデラ	ネルソン・マンデラは、人種隔離政策に反対して27年間にわたり投獄されました。釈放後は白人政府との交渉を進め、全人種が参加する初めての総選挙を経て大統領に就任し、人種間の和解と新しい国づくりに貢献しました。
問2	答え 1 壁の崩壊によって東西対立が緩和し、マルタ会談での冷戦終結宣言を経て、翌1990年にドイツが統一された	1989年11月にベルリンの壁が崩壊したことで東西の緊張が急速に解け、同年12月のマルタ会談で冷戦の終結が宣言されました。この流れを受けて、翌1990年には東ドイツが西ドイツに吸収される形でドイツの統一が実現しました。ソ連の解体はこれら一連の出来事の最後である1991年末に起こったものであり、各出来事の因果関係と時系列を正確に把握しておくことが重要です。
問3	答え 1 巨額の資金援助を行ったが、人的貢献がなかったことで批判を受け、後のPKO協法力制定の契機となった。	日本は湾岸戦争に際して130億ドルにのぼる多額の資金を提供しましたが、憲法上の制約などから人員の派遣を行わなかったため、国際社会から「金だけ出す姿勢」として厳しい批判を受けました。この反省から、国際的な平和維持活動に人的に貢献するための議論が高まり、1992年の「国際平和協法力（PKO協法力）」の制定へとつながりました。
問4	答え 1 東ヨーロッパ諸国において、一党独裁体制を打倒しようとする民主化運動が急速に広がった。	ソ連のゴルバチョフ書記長が進めた改革（ペレストロイカ）をきっかけに、ポーランドやハンガリーなど東欧の社会主義国で自由化・民主化を求める運動が激化しました。1989年11月には冷戦の象徴であった「ベルリンの壁」が崩壊し、ソ連の影響力が弱まったことが、同年12月のマルタ会談における冷戦終結宣言の決定的な背景となりました。
問5	答え 1 ソ連において、国内の立て直しを図るための改革（ペレストロイカ）が進められ、西側諸国との協調路線に転換したこと。	1980年代後半、ソ連のゴルバチョフ書記長が推進した「ペレストロイカ（改革）」により、停滞していたソ連国内の経済・社会を立て直すため、アメリカとの対話が進みました。この流れの中で1989年にマルタ会談が開かれ、長年の対立関係を解消することで合意しました。他の選択肢にあるキューバ危機やベルリンの壁の建設などは、冷戦の緊張が高まっていた時期の出来事です。
問6	答え 1 大学数	日本の大学数は、戦後の教育制度改革（いわゆる6・3・3・4制への移行）や、経済成長に伴う進学率の上昇を背景に、長期的かつ一貫して右肩上がりの推移を見せています。小学校の児童数は少子化の影響で減少局面がありますが、高等教育機関の数は多様化するニーズや学部の増設などによって増加を続けました。
問7	答え 1 原爆ドーム	この建物は1915年に建設された広島県物産陳列館が前身です。1945年8月6日の原子爆弾投下により、ほぼ真上から爆風を受けたため、中央のドーム部分など建物の中心部が倒壊を免れました。核兵器の惨禍を象徴し、二度と同じような悲劇を起こさないための「負の遺産」として、世界遺産に登録されています。選択肢にある「平和の礎」は沖縄県にある戦没者刻銘碑であり、混同に注意が必要です。
問8	答え 1 国際平和協法力（PKO協法力）	冷戦終結後の世界で地域紛争が続く中、湾岸戦争での経験から日本も資金提供のみならず「国際貢献」のあり方を問われることになりました。国連の平和維持活動（PKO）に協力し、人的な貢献を行うための法的根拠としてこの法律が成立し、カンボジアなどへの自衛隊派遣が行われるようになりました。
問9	答え 1 ソビエト連邦の解体	1980年代後半からの民主化や経済混乱を経て、1991年末にソビエト連邦が解体され、ロシアやウクライナなどの独立国家共同体へと移行しました。この超大国の消滅により、約半世紀にわたった冷戦構造は終焉を迎えました。
問10	答え 1 提唱国であるアメリカが不参加であり、意思決定に全会一致を必要としたため、迅速な対応が難しかった。	国際連盟は、アメリカのウィルソン大統領が提唱したものの、アメリカ自身が議会の反対により加盟できませんでした。さらに、重要な議決には全会一致が必要であり、武力制裁の権限も持っていなかったため、後のドイツや日本の侵攻に対して実効性のある制裁を行えなかったことが大きな弱点でした。常任理事国の拒否権は、第二次世界大戦後に設立された国際連合の特徴です。
問11	答え 1 湾岸戦争での多額の資金援助が国際的に評価されず、人的貢献が求められるようになったため。	1990年に発生した湾岸戦争に対し、日本は130億ドルにのぼる多額の資金援助を行いました。この「顔の見えない貢献」からの脱却を目指し、国連の平和維持活動に積極的に参加するための法的枠組みとして国際平和協法力が制定されました。
問12	答え 1 東海道新幹線の開業 → 石油危機（オイル・ショック） → 東西ドイツの統一 → 京都議定書の採択	東海道新幹線の開業は東京オリンピックと同じ1964年であり、高度経済成長の象徴的な出来事です。その後、1973年の第四次中東戦争をきっかけに石油危機（オイル・ショック）が発生し、日本の高度経済成長は終焉を迎えました。冷戦が終結に向かう中で1990年に東西ドイツの統一が実現し、さらにその後の1997年に地球温暖化防止のための京都議定書が採択されました。